

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	滋賀大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シガダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	プロジェクト科目「プロジェクト型インターンシップ2016年夏・観光ビジネスのプロモーション映像制作プロジェクト」
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	特任准教授 柴田雅美
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	13
	受入企業等数	6
	受入企業等名	とばや旅館、双葉荘、ホテルサンルート彦根、ホテルレイクランド彦根、本町宿、料亭旅館やす井
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	彦根を中心とした観光ビジネスのプロモーション映像制作として企業活動に密着し、受入企業からの課題やニーズに沿った映像を企業と連携しながら制作した。企業経営の理念・哲学に触れ、さらに企業プロモーションの一端を担うという責任感を学生に求めた。映像制作を通じて社会人基礎力育成や企画構成力・交渉力、複眼的思考の体得もねらいとした。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	経済学部のその他専門科目の「プロジェクト科目」実施した。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	28年度は特に映像制作をインターンシップの活動ベースにしたため、特にビデオカメラ、パソコン機器の取り扱い、企業人との交渉・折衝の方法、企画内容の調査検討、ゴールの設定を明確に行った。交渉から撮影・編集、完成試写会までのスケジュール管理に加え、映像の構成表の作成など行動計画の策定と実行を重視した。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学習として、映像試写会を開催しました。受入企業を招聘した試写会で、フィードバックシートを使いながら、企業や学生間の評価を行った。さらに学生には自身の活動について「KPT分析」(良い点、課題、改善点)を行い、今後につなげる整理をした。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中、毎週一回以上の頻度で、学生の取材交渉の状況、取材内容の確認、映像制作の指導、企業との連携状況などについて、企業側へのヒアリングと学生へのヒアリングし指導した。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	

	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生にはエントリーシートを用いて事前の意欲や目標を設定し、事後は、活動について「KPT分析」(良い点、課題、改善点)を行い、今後につなげる整理をした。また、社会人基礎力チェックシートを用いて事前・事後の自己診断を実施し、目標設定と達成状況の確認も行った。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2. 該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2. で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	15日間
	5-2. で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. 以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習1日、事後学習1日、実習13日(8月24日～9月28日)で15日以上になるように設計した。
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	観光ビジネスのプロモーション映像制作として企業活動に密着し、受入企業からの課題やニーズに沿った映像を企業と連携しながら制作した。企業経営の理念・哲学に触れ、さらに企業プロモーションの一端を担うという責任感を学生に求めた。映像制作を通じて社会人基礎力育成や企画構成力・交渉力、複眼的思考の体得もねらいとした。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.econ.shiga-u.ac.jp/community/28/4/79.html">https://www.econ.shiga-u.ac.jp/community/28/4/79.html</a>
問い合わせ先	大学等名	滋賀大学
	担当部署名	地域連携教育推進室
	担当者役職名	特任准教授
	担当者氏名	柴田雅美
	電話番号	0749-27-1348
	メールアドレス	fukugan@biwako.shiga-u.ac.jp